

令和6年度 経営改革プラン

団体名	公益財団法人神戸市民文化振興財団
-----	------------------

設立年月日	昭和57年10月1日	
団体の設立目的・沿革	心の豊かさを内包した生活の質向上を求めようとする市民の幅広い多様な文化的欲求に対応し、神戸文化を育て、自由な発想にもとづく文化活動の豊かな展開をすすめるため、神戸市民文化振興財団を設立したものである。	
団体の主な事業内容	事業名	所管局
	神戸室内管弦楽団	文化スポーツ局文化交流課
	神戸市混声合唱団	文化スポーツ局文化交流課
	文化振興事業	文化スポーツ局文化交流課
	文化ホール指定管理	文化スポーツ局文化交流課
	文化センター指定管理	文化スポーツ局文化交流課
	新開地アートひろば指定管理	文化スポーツ局文化交流課
代表者	理事長 服部 孝司	

役職員数 (令和5年7月時点)	理事・評議員		監事		職員		合計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	有期	無期	
団体固有職員	-	-	-	-		30	30
神戸市派遣職員	1	1	-	-		6	8
神戸市OB職員	1	-	-	-	3		4
その他	1	17	-	2	51	-	71
合計	3	18	-	2	54	36	113

財務状況(単位:百万円)	令和4年度	令和3年度	差引
経常損益	▲ 36	147	▲ 183
当期正味財産増減額	▲ 37	146	▲ 183
流動資産	502	378	124
流動負債	525	421	104
長期借入金(固定負債)	0	0	0
期末現金預金残高	358	240	118

■中長期的なミッション（神戸市行財政改革方針2025期間中のミッション）

ミッション①	自律した事業運営に向けた財政基盤の強化
ミッション②	神戸市民文化振興財団の強みとなる人材の育成強化・人材マネジメントの確立
ミッション③	指定管理施設における魅力的なサービス提供

■短期的なミッション（令和6年度のミッション）

ミッション①	多様な財源確保と財政基盤の強化
ミッション②	人材の育成・研修の実施
ミッション③	ベストミックスの人材配置
ミッション④	財団の社会的役割の向上（文化芸術によるまちづくりへの参画等）
ミッション⑤	指定管理施設のより魅力的な管理運営

■経営指標（令和4年度）

経営指標				令和3年度	令和4年度	前年度比増減
人的 パフ オー マン ス	職員 一人 あたり 純利益	純利益/職員数	職員1名あたりが、どの程度の利益を上げているか。(百万円)	1.923	▲0.460	▲2.4ポイント
	経常費用 人件費比 率	人件費/経常費用×100%	経常費用に占める人件費の割合がどの程度あるか。	14.78%	14.91%	0.1ポイント
財政 的 パフ オー マン ス	総資本 経常利益 率	経常利益/総資本×100%	経常的な収益性はどの程度見込まれるか。	19.81%	▲4.49%	▲24.3ポイント
	流動資産 回転率	売上高/流動資産×100%	流動的な資金が効率的に運用されているか。	759.86%	567.08%	▲192.8ポイント
財政 安 定 性	流動比率	流動資産/流動負債×100%	短期的な資金をどの程度確保できているか。	89.65%	95.62%	6.0ポイント
	自己資本 比率	自己資本/総資本×100%	団体固有の資本がどの程度あるか。	42.26%	34.06%	▲8.2ポイント
持 続 性	自己資本当 期純利益率 (ROE)	当期純利益/純資産×100%	資本を効率的に運用しているかか。	46.67%	▲13.51%	▲60.2ポイント
	純資産 増加率	(当期純資産-前期純資産)/ 当期純資産×100%	純資産が持続的に増加しているか。	46.67%	▲13.51%	▲60.2ポイント

■ ミッション工程表

ミッション名		令和6年度						令和7年度～					
中長期的ミッション													
①	自律した事業運営に向けた財政基盤の強化	継続的な経費削減 及び官民他各種助成金の獲得強化、企業協賛金の獲得強化、有料観客数の増加など既存収入の増収対策											
②	神戸市民文化振興財団の強みとなる人材の育成強化・人材マネジメントの確立	固有職員の登用・固有職員のうち幹部候補生の育成 専門人材による人脈・経験の若手職員への継承 計画的な職員研修などによる専門性の高い人材の育成											
③	市民文化振興への積極的な貢献及び文化芸術を通じたシティプロモーションや神戸の都市ブランドの向上	文化ホール開館50周年記念事業の実施 質の高い実演芸術の創造発信 「こうべ文化芸術相談窓口」等によるアーティスト支援と新規事業の創出											
④	指定管理施設における魅力的なサービス提供	指定管理施設間の連携 次期文化センター指定管理の指定獲得						次期文化ホール及び新・神戸文化ホール指定管理運営事業者の指定獲得					
ミッション名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
短期的ミッション													
①	多様な財源確保と財政基盤の強化	不断の検証 決算ヒアリング 決見ヒアリング 決見・予算ヒアリング											
②	人材の育成・研修の実施	4月 新規採用者等研修 自主事業を通じた制作力の強化 公文協等の研修への参加 9月～12月 アートマネジメント研修 9月・12月 非常勤理事による研修											
③	ベストミックスの人材配置	固有職員の登用 適正な人員配置の見直し・置き換え											
④	財団の社会的役割の向上（文化芸術によるまちづくりへの参画等）	「KOBEまちなかパフォーマンス(バスキング型)」の事務局運営 【50周年】ファミリア(レエ「コッペリア」) 【50周年】「クレイジーキャメル」 【50周年】十三代目市川團十郎白猿義名披露 【50周年】オペラ「ファルス・タッフ」 【50周年】「リビングルームのメタモルフォーシス」 第11回神戸国際フルートコンクール準備・関連事業											
⑤	「KOBE C情報」のフォロワー数及びアクセス数のさらなる増加	「こうべ文化芸術相談窓口」を活用した周知 フォロワー数向上への取り組み検討											
⑥	指定管理施設のより魅力的な管理運営	新開地アートひろば、各文化センターにおける地域の特色を取り入れた事業の実施 新規採用職員への接遇やマニュアル等の周知・研修											

■ ミッションを踏まえた団体目標

目標及び実現方法	団体目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般正味財産が必要とされる充当額を毎年度下回らない。 ・ 助成金等の新規申請及び獲得 毎年度新規1件以上増 ・ 課長級以上に占める外部人材及び内部登用人材の比率6割 ・ C情報フォロワー数1万人以上 ・ 相談窓口利用者の発展的活動展開 利用者の70%以上 ・ 市民ネットモニターアンケート「過去1年間で芸術文化を鑑賞した人の割合（絵画・音楽・演劇・映画・ダンスなど）80%以上 ・ 企画・制作及び発信型事業年1演目以上実施 ・ 多文化共生を目指す自主・共催事業等 年1回以上
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続実施している事務事業の見直しについて、物価高等必要経費の増額に対応し更に強化
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門人材の積極登用やアートマネジメント研修事業の活用や多種多様な研修による財団運営強化及び専門性向上や人的ネットワーク拡大による職員育成
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 掲載元（主催者）と連携したC情報の露出拡大及び各種イベント情報発信メディア（スマートこうべ等）との連携強化
		<ul style="list-style-type: none"> ・ こうべ文化芸術相談窓口やKOBEまちなかアートパフォーマンス（バスキング型）を活用し、アーティストの支援と関係機関との連携強化
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 各文化センターにおけるイベントや短期の講座、新開地アートひろばのワークショップやててて広場での事業実施など気軽に芸術文化に触れられる機会の増加
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 幹部会及び拡大幹部会、グループウェアの活用による幹部間コミュニケーション強化
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 50周年事業など新・文化ホールに向けた先進的なプレ事業のための、早期体制確立と確実な事業推進 	

■ 市支援策の活用状況（令和5年度）

<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体共通内部通報窓口	<input type="checkbox"/> 経営懇談会	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体職員向け研修	<input type="checkbox"/> 民間代替性調査
<input type="checkbox"/> 専門家紹介制度	<input checked="" type="checkbox"/> 経営診断	<input type="checkbox"/> 企業統治状況調査	